

2025年6月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房
(証券コード6548)
2024年11月13日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

2025年6月期 第1四半期 決算概要

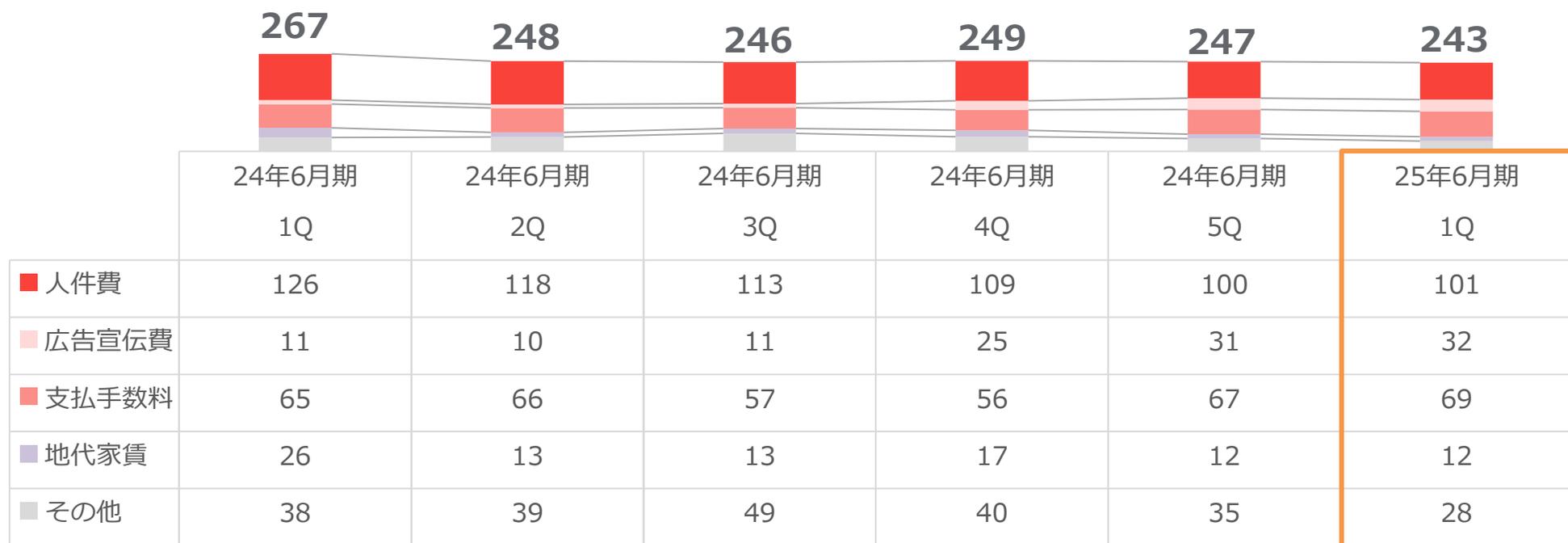


個人向け海外旅行の売上の伸長と 販管費の効率化により 当1Q（7月～9月）は2020年3月期3Q以来 **18Qぶりの黒字浮上**

単位： 百万円	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	23/3期 4Q	24/6期 1Q	24/6期 2Q	24/6期 3Q	24/6期 4Q	24/6期 5Q	25/6期 1Q	24/6期5Q 比較増減	24/6期2Q 比較増減	23/3期2Q 比較減額
売上高	193	268	250	550	519	851	666	736	568	1,034	+465	+182	+765
売上総利益	46	90	118	144	140	220	191	212	142	252	+109	+32	+162
販管費	379	308	303	295	267	248	246	249	247	243	△3	△4	△64
営業利益	△333	△217	△185	△151	△127	△28	△54	△36	△105	8	+113	+36	+226
経常利益	△306	△218	△191	△162	△126	△36	△89	△36	△102	8	+111	+45	+227

「人件費」「広告宣伝費」「支払手数料」が前Qから微増
 「その他」に関しては減資の影響などにより減少

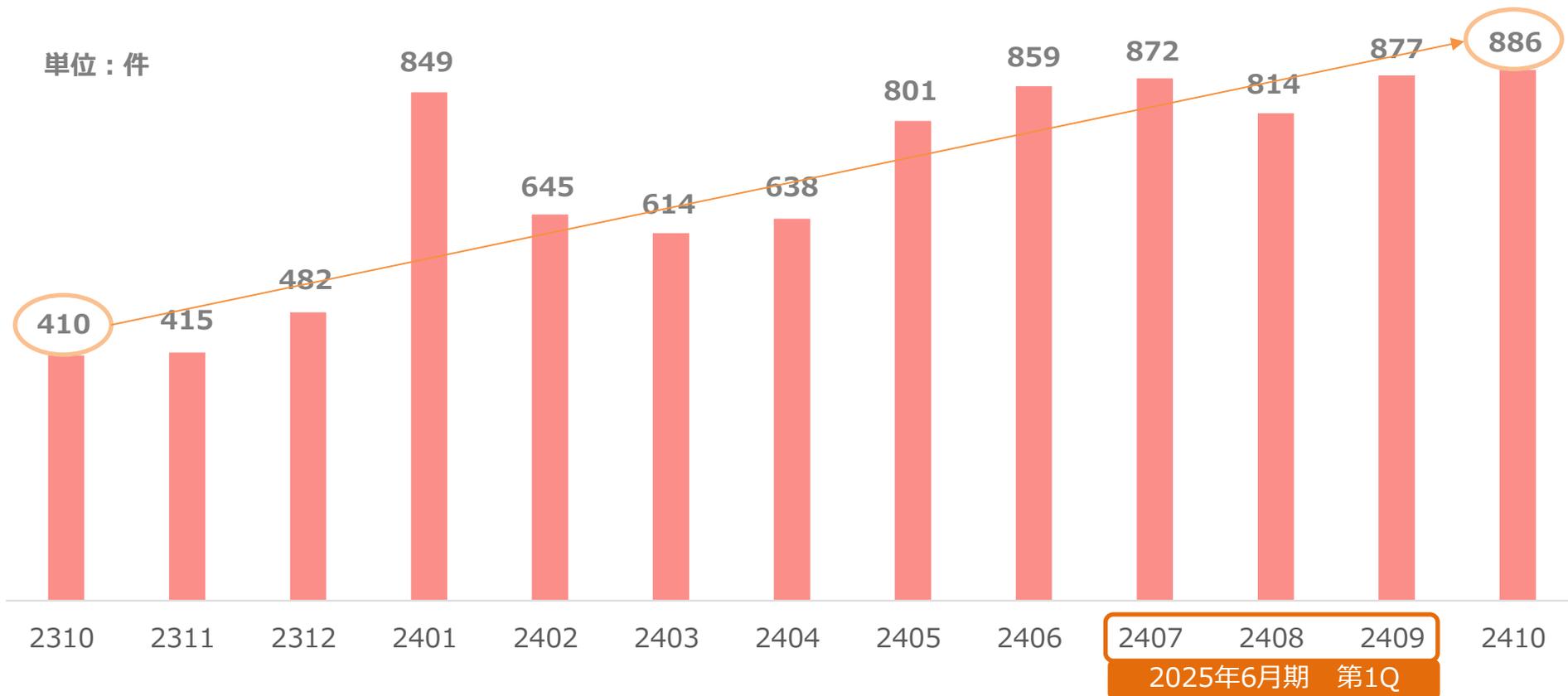
単位：百万円



2025年6月期 第1四半期 受注状況

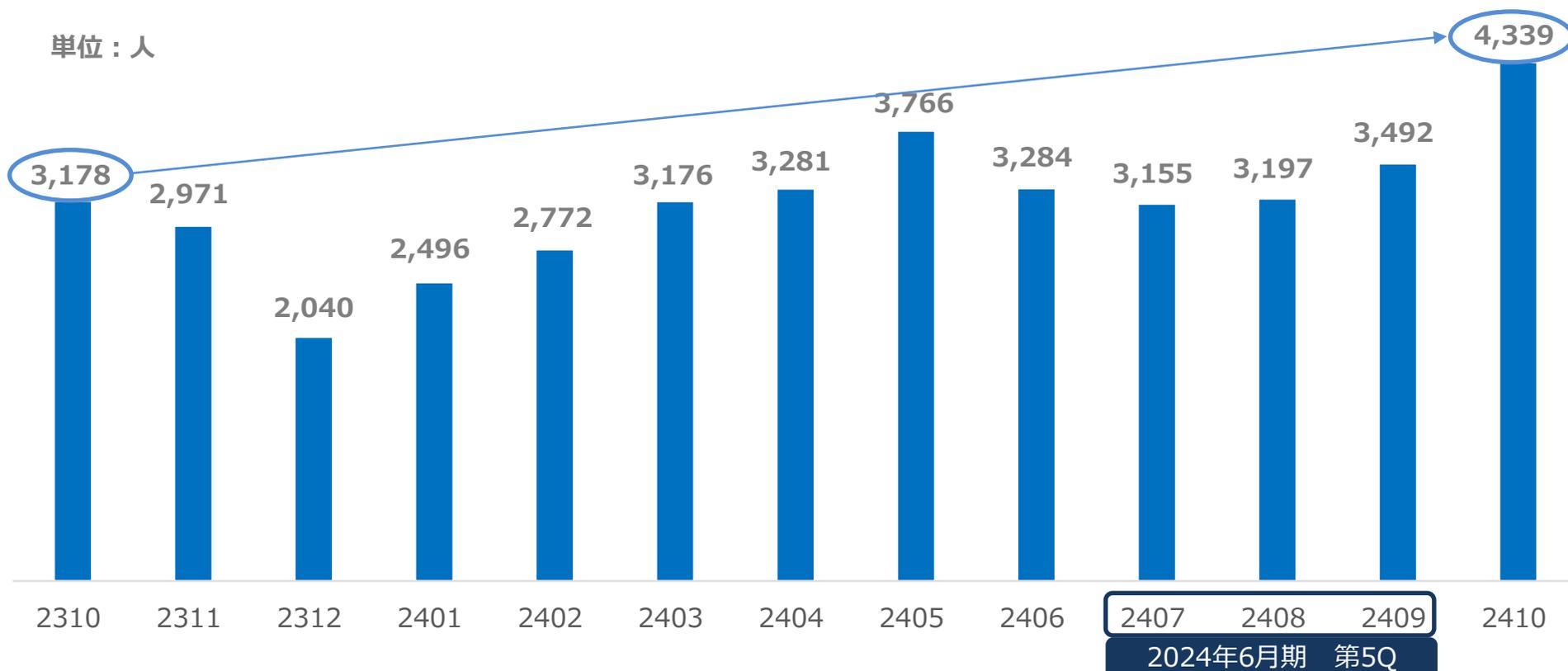


個人顧客からの海外旅行受付件数*は堅調に推移 直近の10月は前年同月113%の伸長



* 受付件数と最終成約件数（売上に直接つながる数値）の間には成約するか否かやキャンセルなどで差異が出ます。
また、当社は旅行の帰着日で売上計上をしているため、受付と売上計上時期には乖離があります。

トランスファーデータ社*1、2との 業務提携によるクラウド型出張手配管理サービス経由の受注が堅調 直近の7月は前年同月37%の伸長



*1 2018年8月16日のプレスリリース (<https://about.tabikobo.com/news/press/2018/08/180816/>)

*2 旧AIトラベル社 (<https://transferdata.co.jp/>)

2025年6月期 第1四半期 財務状況



引き続き高い自己資本比率、現金及び預金残高を維持 販売額の増加に合わせて敷金・保証金・預け金等が増加

単位：百万円	24年6月期 期末	25年6月期 1Q末	差額
総資産	3,525	3,507	△18
自己資本	2,161	2,169	+8
自己資本比率	61.3%	61.9%	+0.6%
有利子負債	500	500	—
現金及び預金	2,480	2,386	△93
運転資本*	△7	84	+92
敷金・保証金・預け金等	253	264	+11

* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

2025年6月期 通期業績予想



海外旅行市場の回復を捉えるために販売拡大のための施策を実施

取扱いエリアの拡大

取り扱いエリアを拡大し、様々なパターンのツアーを用意して、顧客利便性を追求
➡アジアなどは取り扱いエリアを、ヨーロッパなどはツアーパターンを中心に拡大

オンライン決済商品の拡充

安近短エリアなどでコンシェルジュ対応を必要としないオンラインで決済まで済む商品を拡充させオペレーションを効率化
➡2024年11月の時点で2,000件以上のオンライン決済商品を販売中

広告宣伝費の積極的投下

潜在顧客への認知を広げ売上を拡大させるため広告宣伝費を積極投下
➡当1Qは32百万円を投下（前年同期比220%増）
なお、広告宣伝費の投下に関してはあくまで投下に見合う利益が見込まれることを定期的に確認

人員の増加

ツアー商品の拡充および顧客対応のために新卒採用や中途採用などで人員の増加を進める
➡2024年7月～11月で中途社員10名入社、2025年4月入社新卒内定承諾者12名

単位： 百万円	過年度実績			25/6期 通期業績予想 12か月	当1Q実績	
	22/3期 4月～3月 12か月	23/3期 4月～3月 12か月	24/6期 4月～6月 15か月		25/6期 7月～9月 3か月	進捗率
売上高	1,037	1,262	3,342	3,393	1,034	30.5%
営業利益	△1,456	△888	△351	△205	8	-
経常利益	△1,338	△878	△391	△210	8	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	△1,971	△1,013	△353	△210	5	-

当1Q時点で売上高の進捗率は30.5%
営業利益8百万円、経常利益8百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益5百万円
通期の業績予想は据え置き

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。